



総門 令和の大改修はじまる

8月のお盆明けから、いよいよ267年ぶりとなる大溝陣屋総門の改修工事がはじまりました。まずは東側、次に西側の住宅増築部が解体され、現在は江戸時代の元の大きさが感じられるようになってきています。いざ解体がはじまると、元々の総門の建物と住宅の接合部が予想通りだったりそうでなかったりで、できる限り江戸時代からの部分を残せるよう、現場でひとつひとつ確認し、慎重に進められています。また、南側に倒れかかっている躯体を、増築した住宅が支えてきたことで、今まで何とか建物が倒れずに残ってきたこともわかり、時代を乗り越え、築約400年となる総門の境遇を感慨深く思います。



足場が組まれていよいよ工事スタート！

解体中、西側の住宅では壁の中から文房具屋時代のものと思われる木製の棚、床下からはダンボールに入ったままの墨汁が出てきたり、見れば懐かしく思われる方もいらっしゃるかもしれません。もうしばらくすると建物全体に覆い屋根がかけられ、屋根まですっぱり見えなくなる予定です。少しの間、姿が見られなくなるのは寂しく思いますが、何事もなく安全に工事が進むよう見守りながら、蘇る江戸時代の姿を楽しみにしていきたいと思います。

裏面へ続く 



大きなクレーンもやって来ていました。
暑い中屋根の上での作業ご苦労様です！



西側の住宅の床下から出てきた墨汁。
文房具屋さんの在庫でしょうか？



陳列棚でしょうか？
壁の中から出てきました。



一度はじまると、みるみる内に解体されていきます。
一週間ほどで東側の住宅がなくなりました。



西側の住宅



駐車場からすっきりと総門の屋根、
通りの向こうが見えます。



表からの姿（9月13日撮影）



南東から撮影（裏）



総門の屋根全体が見え、
元の大きさがうかがえるように。

見学会を開催します！

10月30日（日）開催予定の「大溝まちづくりマルシェ」で、**改修中の総門を見学して頂けます。11:00～/14:00～（約30分）、各回10名。**
ご予約は大溝の水辺景観まちづくり協議会まで。（電話：36-2011、10時～17時・水木休館）



大溝陣屋総門〈高島市指定文化財〉

唯一現存する大溝藩政建造物。分部氏が藩主としてやって来た江戸初期の建築。現在の建物は発見された棟札から1755年（江戸後期）に改修された時のものとみられる。廃藩後、民間に払い下げられ活用されてきたものの、近年は空き家となっていた。文房具屋だった時代も。日本遺産、重要文化的景観選定のエリアにあり、勝野の歴史を今に伝える大切な建物。所在地：勝野1688番地。※改修中につき敷地への立ち入りは安全面からご遠慮ください。

「まち協」最近の活動

- 8月 高島市協働提案事業 移住者交流イベント（台風接近のため中止）
- 9月 水辺さんぽ「戦国・鎌倉時代に思いを馳せて 大溝城跡と湖中大鳥居」
- 10月 安曇川中学校 大溝城・乙女ヶ池・城下町ウォーキング
湖西中学校 大溝城・乙女ヶ池ウォーキング

10月30日（日）「大溝まちづくりマルシェ」を開催予定です

総門周辺をメイン会場として、総門見学会の他に、子ども商店、昔あそび、お土産屋、歴史文化展示を只今企画中です。また大溝地域一帯で、この街の魅力を共に発信して下さる、大溝で暮らすご家族、お店さん、企業さんを募集します。（詳細は決まり次第、協議会からお知らせします。）

発行

大溝の水辺景観まちづくり協議会

☎ 0740-36-2011
（10時～17時・水木休館）



水辺さんぽ

検索

高島市
移住・空き家
相談取次窓口

